昭和60年
4月1日
第231号

町報 つなぎ

発行 津奈木町役場
編集 企画課
印刷 水俣旭印刷所

人口と世帯

（3月1日現在）

人口	6,191	（－9）
男	2,953	（－4）
女	3,238	（－5）
世帯	1,722	（0）

（ ）内は前月との比較

昭和六十年度一般会計予算
農林水産関係を柱に・十八億円
施政方針（要旨）「住みたくなる町づくり」を
町長 六車孝吉

自主財源に乏しい本町財政はその七九、七%を依存財源に頼っている現状で、国、県の緊縮財政は直接、間接に強い影響を与え、行財政運営は国、県にも増して年々困難をきわめて参りました。然し町将来の発展に向って、創意工夫を重ね、限られた財源を有効適切に配分し、積極的な行財政運営を行う計画です。心配されます町債は年度末には約三億円に達し、公債比率も十五%を超えることが予想されます。現在、高金利のもので、計画的な繰上償還を順次行っており、その大部分を交付税で国が措置する災害復旧債、過疎債、財源対策債、義務教育債等の約六六%を除く、一般町債は計画的に繰上償還を検討致している。

過疎化の解消、活力ある町づくりのためには、第一に**交通ネットワーク**の整備が必要で、国道三号線の津奈木太郎登坂車線の早期完成と合わせ、八代、水俣間の交通ネック地点の解消、**西廻り高速道**の採択につき関係市町村と一体となって努力を致します。

昨年より、芦北土木事務所、県土木部の格別の御配慮による、**県道浜バイパス**の新川の架橋工事は本年七月頃には橋が完成すると聞いております。本工事に合わせ、古川線改修を進めています。

県道岩城湯浦線は大泊、赤崎、平国、福浦を結ぶ動脈路線で、この路線を大型車が自由に通行できるようになることは、住民の夢であります。

本路線改修の最大の難関として残された赤崎集落地の改修は、漁業協同組合、地元漁業関係者の御理解と御協力により、現在の漁港の前面に新に漁港を新設し、現在の波止場を埋立てて、県道のバイパス及び関係施設用地とする**大型プロジェクト**を進めております。

この事業は特に県漁港課の御指導と御協力により年内認可の可能性さえ出ている現況です。このほか局部改良舗装等、本年度事業として約一億円の投資が計画されております。

この外、県営工事の内、**広域農道**では泊と拓地を結ぶ架橋工事町道赤崎線を通って、将軍神社附近に至る改修工事も関係地権者の御協力により、順調に進捗し、過疎代行注線改良工事、合串地区過疎基幹農道も引き続き工事が進められており、早期完成を強く要望しております。

町道では江田八道線改修の外、七路線の整備を計画、外に地元より強く改修を求められている路線もあり、財政的な見通しを得れば、積極的に取り組む所存です。

第二に県が提唱しております「熊本、明日へのシナリオ」日本一づくり運動の中で、本町は緑と彫刻のある**「住みたくなる町づくり」**を目標に掲げて環境整備をはかっております。昨年襲会の御賛同を得、制定した美術品取得基金条例は、各方面に多大の反響があり町内外の方から励ましの手紙や、御寄附を頂きました。

当初計画通り本年七月架橋されます津奈木川河口の橋に県土木部の協力、御指導を得て、橋梁中央部の欄干上に、東京造形大学、岩野勇三先生作の、二米大の裸婦像を建てることに決定致しました。

本年は「国際森林年」の年にあたり県では五月十二日、天皇陛下を阿蘇町にお迎え致しまして植樹祭が開催されることになっており、県では、くまもと緑の三倍増計画が進められ、自然の景観見直し運動が活発に展開されており、町としても、干拓地周辺の千本桜や、運動公園、役場周辺の**緑化**を更に進めたい。

公営住宅の建設は、年度始めに用地確保にあたり、以後計画的に継続して建設する所存です。

老人保健法に基づく**健康診断**を本年度は更に推進したい。五十九年度は水俣、芦北地区医師会の御協力を得、更に熊本大学医学部、水俣病研究センターの先生方に御援助を仰ぎ実施した結果、受診者一三三三名、四〇、六%の実績を上げることができました。病気に罹患してからの治療より早期発見、或は予防に勝る治療はありません。健康は分て自分の体を知る事から始まります。胃ガン、婦人検診は、受診率の飛躍的向上により、対ガン協会長より表彰を受けましたが、更に受診率の向上をはかるよう、努力致したい。

赤崎地区は、町内海岸沿いのほぼ中央に位置する半農半漁の部落で、今回、新沿岸漁業構造改善事業で**漁村センター建設**を計画。漁民の研修、生活改善はもとより、地域住民交流の場として活用できることを期待しております。

第三に**心の通う人づくり**をめざして、教育関係では施設の整備を計画的に進めており、内容の充実も各関係者の御協力を得ながら着実に推進致したい。

本年度は赤崎小学校体育館の建設を計上、社会教育、社会体育の推進は、各級、クラブの育成をはかりながら、自主的な運営等も含め指導にあたりたい。

公民館運動の一環として呼びかけております**生活改善**は、町内各団体の協力を得ながら地道な推進がはかられておりますが、今回県でも「熊本スピリッツ運動」の中で簡易、普及、素朴の精神文化の推進を提唱、県内各市町村が連携して本運動の定着をはかる絶好の機会であると考えております。

第四に**活力ある産業振興**をはかりたい。**農業部門**では**農業基盤総合整備事業**による農道新設、**定住促進対策事業**による圃場整備事業、土地改良事業による農道整備等、農業基盤の整備を継続して実施すると共に、メロン、アスパラガス等特殊農産物の量産と産地化を積極的に推進する計画です。

柑きつは適地適作の推進と、品質、価格の安定が強く要求されるもので、関係団体の統一した指導態勢の確立、流通面の改善等、自主的な改策を含めて、大きな転かん期にあり、同一ブランドの生産者が一体となって難関に対処する覚悟が必要であるかと思います。

畜産は国内外の問題を含め、これも又、大変厳しい経営を余儀無くされていますが、自給飼料の確保、家畜糞尿による発酵堆肥生産など発想の転換をはかり、着実な経営指導にあたりたい。

林業では、**林業構造改善事業**及び**民有林整備事業制度**による林道開設にあたり林業経営の安定化をはかっていく所存です。**町有林**の管理は先輩から引き継がれました貴重な財産であり、これを最高の状態で管理育成し子孫に残すべきものでありますが、一面、町内林業家の指導試験林の役割も果たすべきではなかろうかと考えております。本年度も一部にケヤキ、桑カヤ、塊等、特殊樹の試験植付とみょうが、千両、しきみの栽培も引き続きています。

水産業関係については、**県営合串漁港修築工事**が現在の計画では昭和六十二年度完成となっており一年でも早い完成を願い事業費の増額を陳情致しているところです。

福浜漁港修築は、交通ネットワークの所で、説明しましたが、この事業計画は、年度内着工も予想される状況にあります。沿岸漁業振興のため、並型魚礁設置、車えび、稚魚の放流及び、養殖漁業振興、水産加工の推進及び販路拡張のため適切な指導育成をはかる計画です。

水俣病対策については、現在本町申請者二八一名、認定者三一一名で、認定審査を受けておられない方が大多数おられます。県公害部とも充分協議を重ねながら一日も早い解決が得られますよう努力致す所存です。

企業誘致は、公共工事の残士による理工を行なうなど条件整備を行いながら、じっくり安定した企業の誘致を図るように致したいと考えております。

昭和六十年度予算の大綱について説明申上げます。

一般会計予算の総額は歳入歳出それぞれ、一、八〇〇、〇〇〇千円と致しました。対前年比一一、三%の伸び。構成比でみますと歳入では**地方交付税**が八二三、〇〇〇千円で四五、七%の高比率を占め、町税は昨年比五、一%伸び、一九五、五二六千円、構成比一〇、九%。**国庫支出金**では八七七、三八七千円で一〇、四%の構成比。**県支出金**は、一八五、二七八千円、構成比一〇、三%。町債は二〇一、一〇〇千円、一一、一%。その他、地方譲与税二五、〇〇〇千円、分担金及び負担金二六、一八千円、使用料及び手数料二、六六九千円、財産収入五七、九二六千円、繰入金五六、九七一千円、繰越金五、〇〇〇千円、諸収入一〇、六五二千円。

地方債は、その内八五、七〇〇千円を過疎債、四〇、〇〇〇千円を義務教育施設整備事業債として借入れの計画。この町債は六〇～七〇%を地方交付税で国が措置するもので、今後共、このような優遇処置のあるもの又は、低金利のものについて事業の選択を可ない将来の負担をなるべく少なくするように致したい。

交付税・譲与税等、国・県支出金に町債を加えた**依存財源**は一、四三五、七六六千円となり七九、七%の比率となり、自主財源の乏しさを如実に表しています。

歳出について

構成状況では、経常経費六〇、七%、臨時的経費三九、一%又人件費・物件費等の消極的経費は、八一八、五三四千円で四五、五%、建設事業、災害復旧事業等の投資的経費は六五三、八二二千円となり三六、三%。公債費二七九、四三〇千円で一五、五%。その他四七、二二四千円。

事業関係では、継続事業及び新規事業の採択等があり、対前年比二五%の伸び。

項目別にみますと、**議会費**五二、二五六千円で、二、八%。**総務費**では津奈木川河口の橋梁に設置するブロンズ像製作委託料**町長選挙**経費等合わせて、二五五、〇七七千円、構成比一四、二%。

民生費では一四九、八七四千円で八三%。

衛生費では老人保健事業で行う健康診査を重点項目として、各種予防接種も合わせ強力に推進致したいと考えて予算計上。

簡易水道事業特別会計への繰出金は大部分が公債の償還金等、合わせて七五、一八千円、構成比四、二%。

農林水産業費は、三七四、五五〇千円、二〇、八%。内訳では、

林業費は町有林の保育、植栽及び作業道、民有林林道、林構事業この外石木田線は関係者の合意が得られ、財源の見通しがつき次第に計上。

水産業費では県営合串漁港修築工事、同じく海岸保全工事は、本年度は福浜漁港修築工事、認可が早くなると共内に事業実施につき追加審議をお願いすることになるかと思います。

商工費は三、七一二千円。

土木費では二六九、一一一千円、構成比一五、%。対前年比、六七、七%の伸び。道路維持は舗装等約七〇%で、計画的に整備舗装を進めたい。**道路改良舗装工事**では（別表の計画路線）この外にも強い要望がでている地区もありますが、財源の見通しがつきますならば追加して実施する。県道では、岩城湯浦線の局部改良、側溝改良舗装工事に負担金を出して実施。

治水砂防では千代川、赤崎川の改修、町単独事業として蔵迫川の改修を計画。

住宅建設では、二棟八戸を計画。

消防費では、七八、五九二千円、構成比三、八%を計上、防火水槽二基、第二分団の小型動力ポンプ積載車の購入。

教育費は二五八、九三一千円、構成費一四、四%。

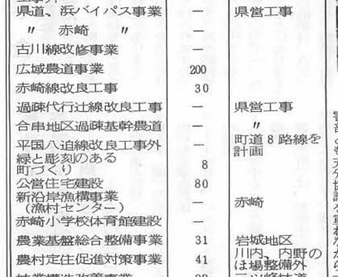
災害復旧費は自野越線外六ケ所の道路災害復旧工事費、一三、三四六千円を計上。**公債費**は二七九、四三〇千円、構成比一五、五%。

予算編成に当りましては事務事業の見直しを含めまして経常経費の節減を図りましたが、今後におきましても職員と一体となりまして、更に縮減に努める所存でございます。

特別会計では**国民健康保険事業**特別会計、四四五、〇〇〇千円。**老人保健事業**特別会計、三九一、一〇〇千円。**簡易水道事業**特別会計、四五、〇〇〇千円。**農業共済事業**特別会計、六、九六九千円。

以上、昭和六十年度予算の大綱につき御説明申し上げましたが、何卒よろしく御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

▲漁港修築県道バイパス、宅地造成等の大型事業がはじまる（赤崎）


▲健康はまず自分の体を知る事から
「献血」3月19日 海洋センターにて

▲教育「心の通う人づくり」を（総合運動公園にて3/15）

◀農業基盤：ほ場整備（川内にて）

▶民有林整備：荒峰林道（古中尾）

昭和60年度の主な事業計画

事業名	事業費（百万円）	備考
国道3号線登坂車線工事外	—	建設省
県道、浜バイパス事業	—	県営工事
〃 赤崎 〃	—	
古川線改修事業	—	
広域農道事業	200	
赤崎線改良工事	30	
過疎代行注線改良工事	—	県営工事
合串地区過疎基幹農道	—	〃
平国八迫線改良工事外	—	町道8路線を計画
緑と彫刻のある町づくり	8	
公営住宅建設	80	
新沿岸漁構事業（漁村センター）	—	赤崎
赤崎小学校体育館建設	—	
農業基盤総合整備事業	31	岩城地区
農村定住促進対策事業	41	川内、内野の川は場整備外
林業構造改善事業	22	三ツ峰林道
民有林整備事業	12	荒峰林道等
県営合串漁港修築事業	—	県営工事
福浜漁港修築事業	40	赤崎
並型魚礁設置事業	5	
クルマエビ等放流事業	1	
津奈木村線改良設計	5	大字津奈木
町単土地改良事業（農道）	8	合串
団体営農道整備・船舶地区	16	泊

▲ひなまつりおゆうぎ会
3月3日津奈木保育園

わたしは「かわいいナースさん」がよかったです。「ほんまつしょうねんたい」もよかったです。「べかんべぇまつり」もよかったです。みんなから、はくしゅをもらったから、とってもうれしいです。りっぱな、一ねんせいになります。おわり。

三月三日
つなぎほいくえん・しいば さち

消防関係者表彰

一号銀杯（二十五年以上勤続して退職した団員）

元副団長 長濱實男
元第三分団長 山口 敦
元第五分団班長 福田 勉
元第五分団班長 下川秀喜
元第七分団長 石田 勝
元第七分団副分団長 水松栄三
四六千円を計上。**公債費**は二七九、四三〇千円、構成比一五、五%。

二号銀杯（十五年以上勤続して退職した団員）

元機動隊副分団長 福崎靖夫
元機動隊班長 川野廣美
元第一分団班長 林田吉廣
元第一分団員 林田良明
元第五分団員 下川吉光
元第五分団員 山路重保

日本消防協会

○功績章（二十五年以上に及ぶ）

副団長 諫山實太郎

○精績章（二十五年以上に及ぶ）

（分団長）
第四分団長 川野又男

熊本県消防協会

○感謝状（三十年以上勤続して退職した団員）

元副団長 長濱實男

○功績賞（二十年以上に及ぶ団員）

第三分団長 本山勝三
第三分団班長 寺川 悟
第三分団班長 芦浦長敏
婦人分団班長 村上國子
第一分団員 佐々木繁治
第一分団員 板崎正雄
第六分団員 松本芳武

○勤績章（十五年以上に及ぶ団員）

第二分団副分団長 柳迫勇蔵
第二分団班長 明蔵
第二分団班長 吉野 彰
第二分団班長 岡下辰夫
第四分団班長 原野 登
第一分団員 林田武弘
第一分団員 岩崎博文
第一分団員 森山政行
第一分団員 諫山 洋
第一分団員 柳迫 貢
第三分団員 長浜純也
第三分団員 鶴野富人
第四分団員 浦田和則

町長表彰（二十五年以上勤続団員）

三十年以上

第六分団班長 福山 保

○二十五年以上

第四分団長 川野又男
婦人分団班長 濱田ミス子

消防 総合グランド 午前9:00より 4月14日(日) 点検

去る59年12月15日第6分団に積載車の引渡式があり、本町に6台目の機動化が整備された。

この積載車購入費の一部は「郵便局簡易保険」の積立金から還元融資を受け購入したものです。

第六分団に積載車配置

衛生係より お知らせ

乳幼児検診の実施について

次の日程で乳幼児検診を実施しますので、母子健康手帳持参の上ぜひ受診下さい。

(1)日時・場所
昭和六十年四月二十四日(水)
午後一時三十分～三時
津奈木町改善センター・和室

(2)対象児
昭和五十九年六月一日から昭和五十九年十一月三十日までの出生児。

参加しませんか 家庭看護教室

水俣保健所では次の日程で家庭看護教室を開催します。

一日時 毎月第一火曜日
午前十時～十二時

二場所 水俣保健所・母子指導室

三内容
①症状観察の方法（昭和六十年四月・八月・十二月）
②清潔の保ち方―衣類・シーツの交換法・洗髪・身体の清拭法―（昭和六十年五月・九月 昭和六十一年一月）
③排泄の世話（昭和六十年六月十月・昭和六十一年一月）
④床づれの予防と手当、ねたきり者の体位変換法、家庭看護用品のつくり方（昭和六十年七月・十一月・昭和六十一年三月）

四参加するもの 筆記用具

五連絡先 水俣保健所
電話〇九六六(四)一〇五

国民年金
前納制度を、ご存知ですか

国民年金は、月々納める手数を省くために、保険料をまとめて前払いする前納制度があります。

前納制度は、納め忘れを防ぐだけでなく割引きもうけられますので大変有利な制度です。月々納付すると年に八〇、八八〇円ですが、前納なら七八、九三〇円で一、九五〇円割引かれることになります。

尚、附加保険料の前納は、八三、六一〇円になります。前納を希望される方は、役場町民課福祉係に四月二十七日までに申し出て下さい。

交通事故の相談は熊本相談センターへ

相談センターでは交通事故の被害者、加害者のため自動車保険の請求手続のほか事故解決方法等についても、ご相談に応じています。

ご相談には専門の相談員があたり毎週一回は弁護士の相談も受けられます。

いずれも、一切無料ですから、お気軽にご利用下さい。

（所）熊本市水道町一五・二三
農亨ビル六階
自賠責保険 熊本調査事務所内
（時間）午前九時半より
午後四時半まで
（土曜日は午前まで、第二土曜、日曜、祝日は休日）
弁護士相談 毎週水曜日 午後一時から午後四時まで
相談は来訪、電話いずれでも受付けます。
社団法人 日本損害保険協会
熊本自動車保険請求相談センター
096・356・0627
096・356・3477

春の全国交通安全運動 4月6日～4月15日

運動の重点目標

○新入学（園）児を中心とした子供の交通事故防止
○シートベルト、ヘルメット着用の徹底
○二輪車を中心とした無謀運転の追放

津奈木町では、期間中の早朝通学時間に合わせて、横断歩道や交差点で街頭指導を行ないます。

各団体ごと協力をお願いしておりますが、期間中各戸一名以上はこの街頭指導に立って頂きたいと思います。交通安全運動に参加することによって、意識の高揚がはかられ、事故も減ってくると思います。又、シートベルトは自分の命を守る大切な装置です。車に乗ったら必ず着けるようにして下さい。交通事故のない「明るい町づくり」に御協力を。

＝交通安全推進員の方へ＝

四月六日より春の交通安全運動が実施されます。次の事を推進して下さるようお願いします。

○シートベルト、ヘルメット着用
○子供の事故防止

津奈木町奨学資金貸付けについて

昭和六十年度津奈木町奨学資金借入申込みを左記により受付けますので、大学、高校進学者及び在学生で借入を希望される方は、教育委員会に申し出て下さい。

記

申込期間 自四月一日
至四月三十日
（但し日曜、祭日は除く）

貸付金額
高校 月額 七〇〇〇円
大学 月額 二〇〇〇〇円

ご芳志お礼

部落 世帯主 故人
日添 吉野 勝幸 忠喜
竹中 鶴野 満員 ツジ
日添 竹田ミヱ子 卯助
中尾 斉藤 宗一 チク
川内 西平 弘美 フジエ

右のかたがたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄付くださいました。この寄付金は意志に無効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

四月の行事

五日 ○各保育園入園式
八日 ○各小学校入学式
九日 ○津奈木中学校入学式
○体育協会理事会
一〇日 ○津奈木幼稚園入園式
一四日 ○消防点検
一五日 ○春柳ゲートボール大会
一六日 ○春季ソフトボール大会
一七日 ○体育協会評議委員、体育部長合同委員会
二四日 ○第二回 津奈木町男女混合バレーボール大会

ご寄附お礼

○水俣ライオンズクラブ
会長 龍 栄二 様
○サミカフェオケ歌お会
会長 坂本仁助 様
中尾部落 斉藤宗三 様
川内部落 西平弘美 様
新川部落 岡松稔子 様

より町美術品取得基金として、多額のご寄附を頂きました。

○二月より桜戸村上肉屋様で営業中の福栄サカエ熊本営業所様から日用品雑貨の売上金の一部を町社会福祉協議会へご寄附くださいました。

※鼓笛隊セット交付

去る二月七日広島県立体育館において、日本防火協会（会長 笹川良一）より津南保育園幼年消防隊へ、鼓笛隊セット一式が交付されました。